

本格的な利用期到来

次の世代に引き継ぎたい

吉本社長 由井正隆



由井 社長

かつて長野県はカラ松で栄え、先人が大きな利益を得たこともあった。古くからの森林

所有者は分るが、高年齢の力が松に育った。信州プレミアムカラマツが適正に評価されれば、売れる人はどんどん

ん出てくる。現状は80〜100年育った木も50〜60年生の並材と同じ価格でしか売れない。林家は先人に対して申し訳ないと伐るのを見送ってきたが、温存してきたものを世に出したいという気持ちがある。

需要側は年間を通して安定的に供給されることに確信が持てないと本格的に使おうという気にならない。カラ松が合板に使われるようになった一番の理由は安定供給できたからだ。これまではマーケットが成立していなかったが、外材よりも国産材が安定供給できる時代になり、試験的に使ってみようという動きが出て来ている。本格的に使われるのを夢見ており、植林をして次の世代に引き継いでいきたい。

豊かな森林の育成を通して、社業の発展と社会への貢献を目指しています。
社有林にて、需要に応じた「信州プレミアムカラマツ」提供致します。

株式会社 吉本

代表取締役社長 由井正隆

〒384-0611
長野県南佐久郡佐久穂町平林121
TEL 0267(86)4305
FAX 0267(86)5544
上野事業所 岩泉事業所